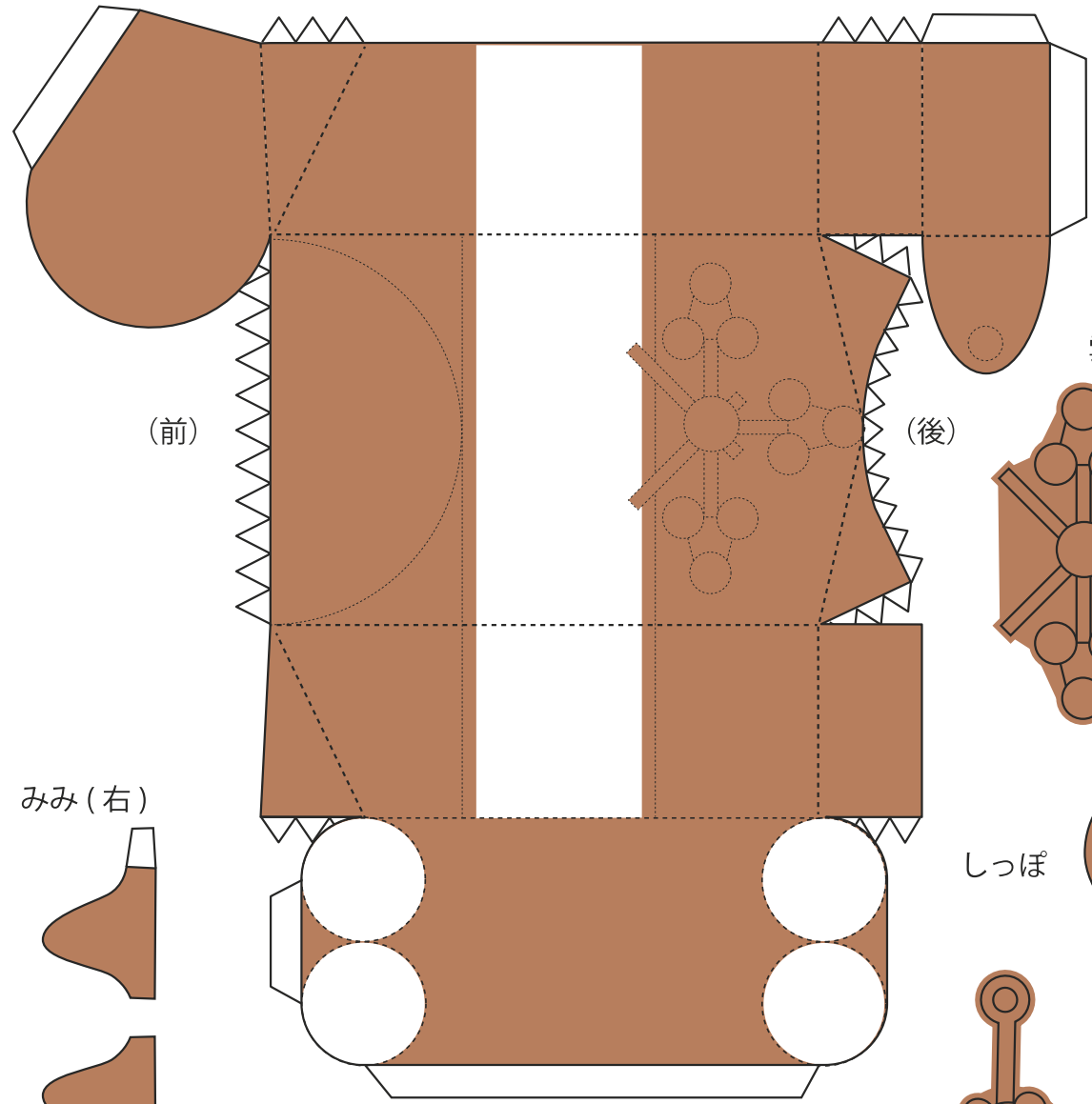


あたま

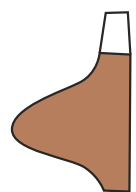


(前)

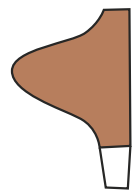
(後)

胴体

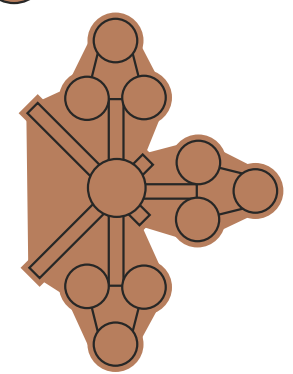
みみ(右)



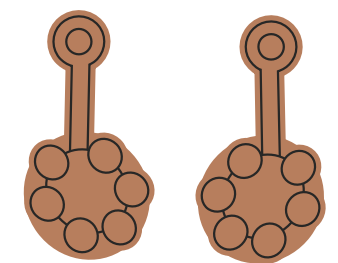
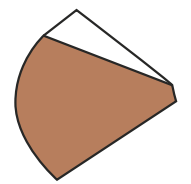
みみ(左)



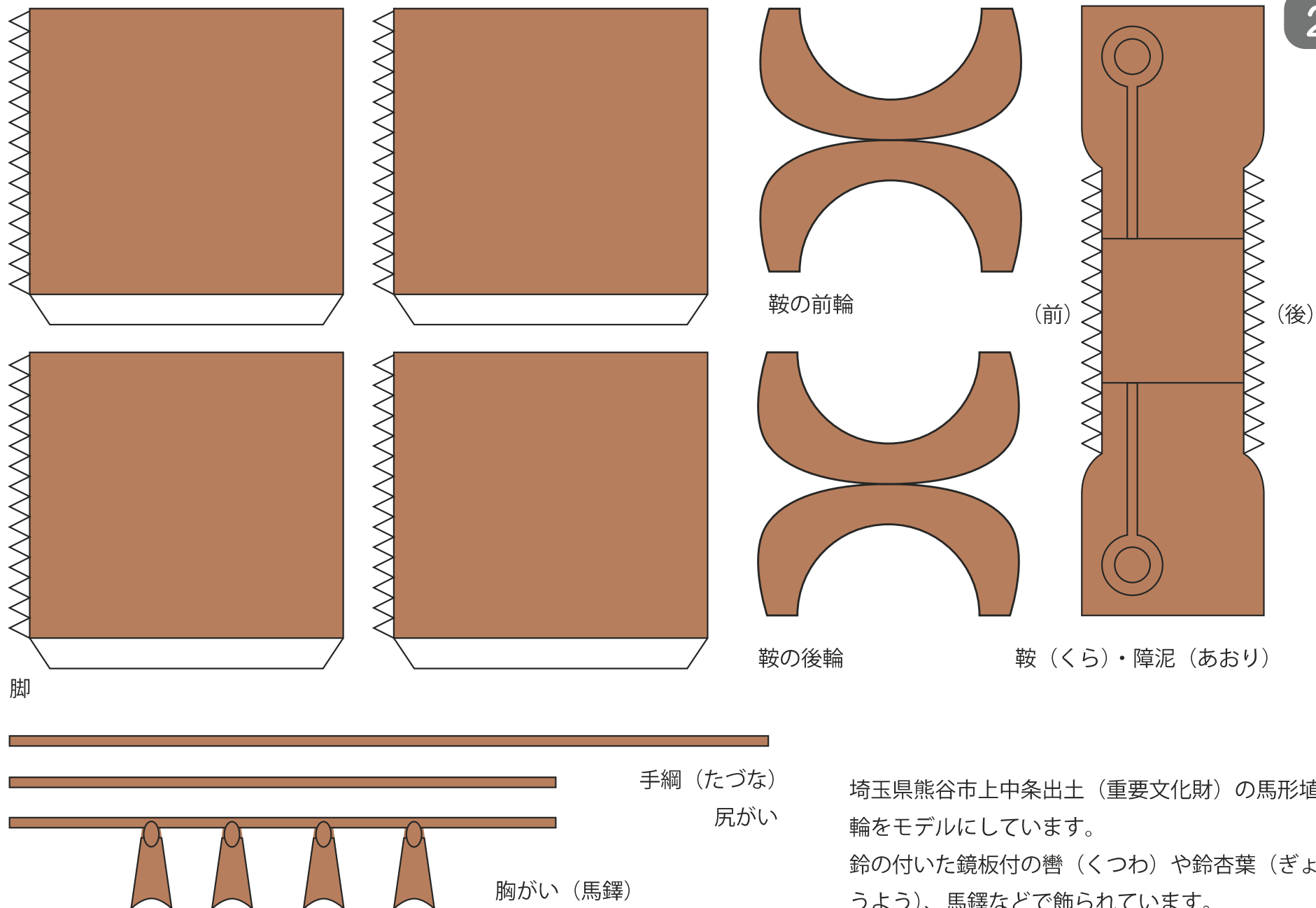
雲珠・杏葉



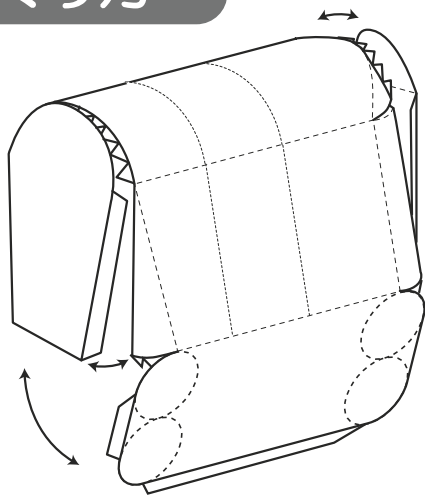
しっぽ



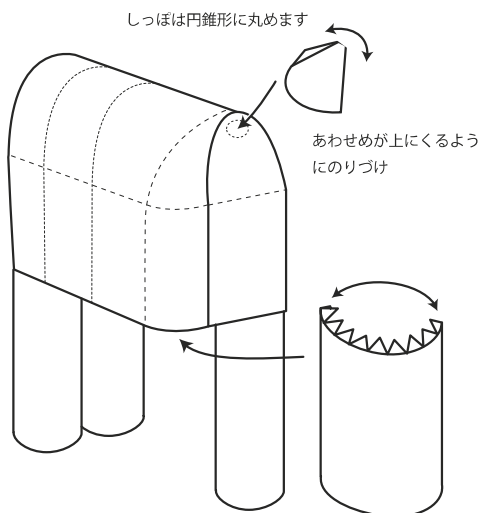
(右) 鏡板付簪 (左)



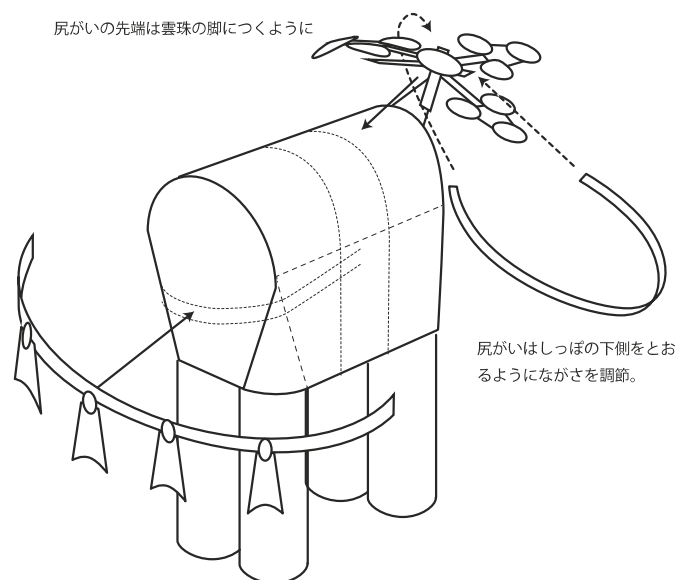
つくり方



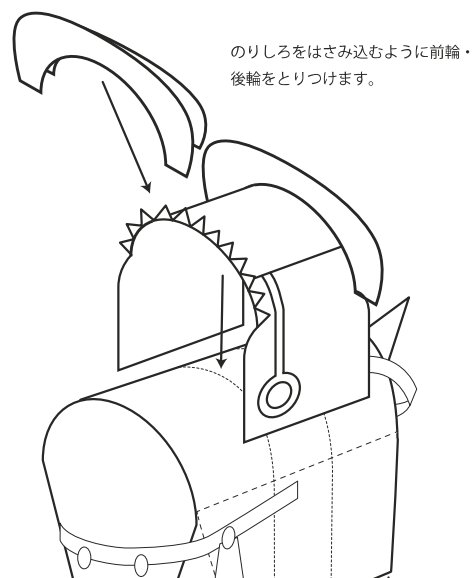
- ①胴体を箱形にのりづけします。
背中とおなか側やおしり側の角が丸くなるので注意。



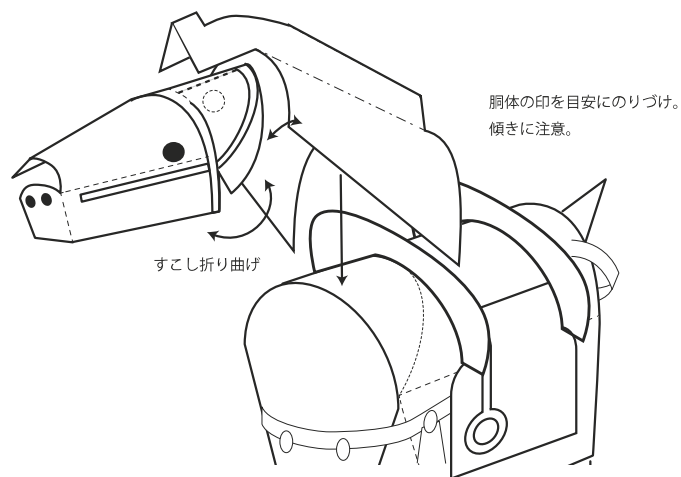
- ②脚、しっぽをそれぞれ作り、印の位置にのりつけします。



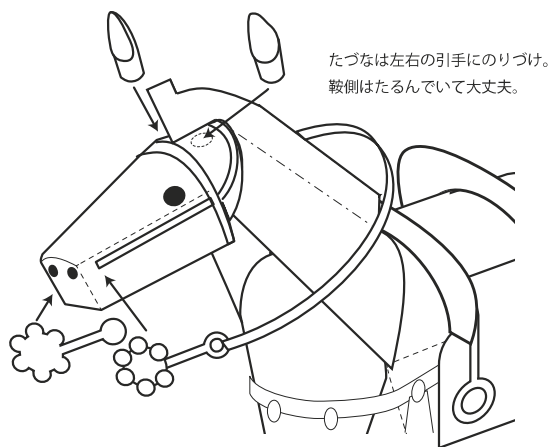
- ③雲珠・杏葉、胸がい、尻がいのをのりつけします。



- ④鞍（くら）・障泥（あおり）を組み立て胴体にのりづけ。



- ⑤たてがみを張り合わせ、鞍前輪の前にくびをのりつけします。
あたまはうつむくように曲げて、くびの上からかぶせるようにのりづけ。



- ⑥みみ、轡（くつわ）、たづなを取りつけます。
みみ、轡は左右があるので注意。